

事業の概要	事務事業名	こまきプレミアム商品券発行助成事業				担当部	地域活性化営業部	担当課	商工振興課							
	実施計画	2	年目													
	新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	5	産業・交流	20	商工業	2	既存商工業の経営を支援します						
	予算区分	一般会計		款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	地域限定商品券発行事業費補助金交付要綱														
	目的	何(誰)を対象に	対象:市民及び中小事業者													
		どの様な状態にするか	厳しさを増す市民生活を支援するとともに、中小事業者を支援し地域経済を活性化する。													
	手段	どのような事業を実施するか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所が平成19年度から、市内中小事業者の育成及び活性化によるモチベーションの向上を目的に実施していた地域限定商品券発行事業を、市民生活の支援及び地域経済の活性化を目的として平成23年度より発行額を大幅に増額した。</li> <li>・この商品券事業に対し小牧商工会議所が発行する「こまきプレミアム商品券」の10%のプレミアム分と事務経費の補助を行う。</li> <li>・商品券発行事業に関する事務経費(換金手数料,委託料,商品券印刷費)の補助</li> <li>・こまきプレミアム商品券(贈答用)に係る事務経費(換金手数料,委託料,商品券印刷費)の補助</li> <li>・広報こまき、HPIによる周知活動実施。</li> </ul>													
			事業内容													
		28年度	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行数 10万セット 発行額 11億円(プレミアム率10%)</li> <li>・参加店 650店(平成29年2月28日現在)</li> <li>・利用期間 H28.9.9~H29. 2.28</li> </ul> <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総販売額 7億7,876万円(残額 2億2,124万円)</li> <li>・購入者数 20,344人 内訳:小牧市在住者 18,668人(91.8%) 市外在住者 1,676人(8.2%)</li> </ul> <p>【28年度直接経費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまきプレミアム商品券発行事業費補助金 92,124千円 (プレミアム分 77,705千円 事務経費 14,420千円)</li> <li>・平成27年度繰越明許費分9,259千円(平成27年度事業分)</li> </ul> <p>【28年度県支出金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・げんき商店街推進事業補助金 7,000千円</li> </ul>													
	29年度	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行数 10万セット 発行額 11億円(プレミアム率10%)</li> <li>・参加店 611店(平成29年4月24日現在)</li> <li>・利用期間 H29.7.14~H30. 2.28</li> </ul> <p>【29年度直接経費予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまきプレミアム商品券発行事業費補助金 116,000千円</li> </ul>														

事業費	財源内訳 (千円)	H28		H29	
		合計	当初予算額	決算額	当初予算額
			116,000	92,124	116,000
		国支出金			
		県支出金		7,000	
		地方債			
		その他			
一般財源	116,000	85,124	116,000		
特定財源の説明	愛知県げんき商店街推進事業補助金				
事業費内訳 (千円)	細々節	H28		H29	
		当初予算額	決算額	当初予算額	
		116,000	92,124	116,000	
こまきプレミアム商品券発行事業費					
従事者数	正職員(人数)	0.30	0.30	0.30	
	その他職員(人数)				

業績及び自己評価	ステップⅠ	影響を与える展開方向の指標	単位	目指す方向性	基準値	H26	H27	H28	H29	
		① 市内でプレミアム商品券が使える店舗数	店	→	588	621	654	640		
	②									
	基本施策の展開方向の指標に対する影響(貢献等)									
	H28実施結果	<p>・加盟店舗数が640店舗になり目標値を達成しており、中小規模店舗の支援や商品券の利用しやすい環境に繋がったと考える。</p> <p>・前年に予約希望者へ行き渡らなかつた反省から、発行額11億円を維持したなか販売回数を年2回から1回に変更し実施した結果、希望者全員が購入することができた。一方で、販売回数の縮小から商品券の対象とならない期間が拡大したことにより、利用できない期間の需要を取組むことができず販売額は7億7,876万円に留まり2億2,124万円の売れ残りが発生した。</p>								
	ステップⅡ	事業の成果指標		単位		H26	H27	H28	H29	
		① 購入した市民の全市民における割合	%	目標		10.0	12.0	16.0	16.0	
				実績		10.7	16.0	12.2		
		② 加盟店アンケートにて商品券が売上げに効果があるまたはどちらかという効果があると回答した店舗割合	割合	目標		-	-	-	-	
				実績		67.9	76.9	64.2		
事業の活動指標		単位		H26	H27	H28	H29			
① 商品券流通額	千円	目標		1,118,000	1,411,000	1,130,000	1,130,000			
		実績		1,118,788	1,419,018	889,264				
②		目標								
		実績								
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因、今後の見通し										
H28実施結果	<p>・平成23年度に規模を拡大したこの事業は、事業規模拡大当初、前期・後期の年2回販売を実施するなか、それぞれ1人あたり5万円を購入上限としていたが、購入希望者の増加に伴い公平性の観点からより多くの市民に購入いただくため、購入上限額を1人あたり4万円に引下げ、販売回数を年1回とするなど順次変更し実施してきた。その結果、年2回販売上限1人5万円を実施した平成24年度事業に比べ、年1回販売上限1人4万円を実施した平成28年度事業では、年度内に商品券を購入できる1人あたりの上限が4割に減少している状況のなか、市民購入者数は約30%増加している。</p> <p>・一方で平成28年度の商品券流通額は、市民の商品券の購入希望に対応するため、平成27年度に引き続き1人あたりの購入上限額4万円を維持したなか販売回数を2回から1回に縮小したことにより、その利用できない期間の需要を取り込めず売れ残りが発生した。しかし、商品券の購入を希望する市民ニーズには対応することができ公平性は確保することができた。</p> <p>・成果指標の状況は、購入した市民の割合は、平成28年と同様の発行規模である平成26年の10.7%に対し、平成28年は12.2%と増加した。また、加盟店の売上効果についてはプレミアムと発行額を増やした平成27年度を除き横ばい。</p>									
ステップⅢ	要因を踏まえた事業の見直し									
	H28実施結果	<p>・商品券利用期間の約2ヶ月の延長をはかり、夏の賞与需要にあわせた販売開始により、市民の需要喚起と加盟店の販促活動がし易い期間設定として商品券流通額拡大を図る。</p> <p>・売上効果については、商品券を活用した加盟店個々の販促活動を促進し改善に繋げる。</p>								

一次評価	判定	判定理由
	事業の方向性 維持 事業のボリュームを現状規模で維持するもの	地域の身近な店舗である市内の中小規模店舗は減少しており、市民が暮らしやすい環境を維持していくためにも、「市民生活の支援」と「中小商業者の育成」、「地域の活性化」を目的とするこの事業を一定の規模で継続し、中小規模店舗の活力を高めていくことが必要と考える。

二次評価	判定	判定理由
	事業の方向性 維持	一次評価のとおりに。
	実計ヒアリング実施要否 不要	
事業の位置づけ 実施計画事業として継続		